



第54回国鉄原爆死没者慰霊式開催！



8月9日第54回国鉄原爆死没者慰霊式が浦上駅近くの慰霊塔で開催されました。今年の合祀者はいませんでした。これがこれまでに217人が合祀されています。原爆が投下された11時2分全員で黙とうし、犠牲になられた方への哀悼の誠をささげました。

参加者は、被爆者退職者遺族・中央本部・中国地本・広島被爆二世の会・JR九州長崎支社など40名が参列しました。代表して、中央本部委員長、長崎支社長が追悼の辞を述べました。

浦上駅上空500m付近で原子爆弾が爆発し、一瞬で3万5千人が亡くなり、これまでに20万4708人の犠牲者数となっています。国労は1966年国労原爆被爆者対策協議会を結成し、本年度60年を迎えこの間、被爆者の救済と支援をおこなってきました。しかし被爆者の平均年齢が86歳となり高齢化を迎え、この惨劇を後世に伝えることが年々厳しくなっています。

一方、平和公園で行われた平和式典の終了後、高市首相と長崎被爆者4団体と協議が行われました。被爆者団体から、非核三原則の厳守を求められた首相は、「我が国は非核三原則を堅持している」として、単なる現状の説明に終始し、今後の見直しの可能性を含ませる回答をおこなっています。また、非核三原則の法制化も否定するなど、被爆者の気持ちを逆なでする態度に終始しました。

日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）は結成70年を迎えた10日、声明「ふたたび世界への挨拶」を発表し、「核兵器禁止条約に日本が署名、批准することは世界に対する被爆国の歴史的責務である」と強調し、「核兵器も戦争もない世界をめざして、私たちは残された命の限り訴え続ける」と決意を表明しました。また、代表委員からは、日本政府が「戦争国家」づくりに突き進んでいると批判。戦争があつたからこそ核兵器が使用されたと指摘し、戦争は絶対にはやめてはいけないことを広めていくことも強調しています。改めて、核と人間は共存できないことを認識し、核兵器廃絶に向けた運動を強化していく事が求められています。

がん保険の枠を超え、一人ひとりに最適な安心を

保障と相談サポートで

あなたによりそう
がん保険
ミライト

No.1

アフラック
がん保険
契約件数
※全国がん保険協会調べ（2024年3月時点）



（募集代理店）（アフラックは代理店制度を採用しています）

アヘール株式会社
〒103-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3階
Tel.03-3437-6810

（提携保険会社）

「生きる」を助ける。
Affac

アフラック
法人第二営業部
〒163-0456 東京都西新宿2-1-1 新宿三井ビル20階

当面する行動

- 第43回九州本部定期大会
日時 8月27日 10時～
場所 博多リファレンス
- 九州本部レク開催
日時 9月27日（日）
28日（月）
※両日とも 13:00～15:00
場所 博多 GARDEN
福岡空港店